

# 大名なう 5月イベントレポート



～日本中の街を元気にしよう!～

「もっと!リアルに感じる大名なうへ」を合い言葉に、大名なうは、2010年5月のゴールデンウィークも街を盛り上げました!

大名なうは、ネット上だけではなく、もっと“リアル”に盛り上がっている雰囲気を出していくよう、さまざまな店舗、メディア、地域そしてお客様とコラボレーションを行なってきました。また、今回は新たに他の地域でTwitterを使って街を盛り上げている方たちを迎えて、交流をはかりました。

フライトシステムコンサルティング(当社)は、この大名なうの活動を支援しており、今回の企画では、前回の情報基盤を活用し、店舗とお客様、地域とお客様、他地域と大名地域を結びつけるリアルなコミュニケーションの構築の支援を行いました。

## ポケットビデオカメラSAL & iPhoneアプリ「セカイカメラ」が参加

当社は、「大名なう」において、動画とAR(拡張現実)のコラボレーションを、3月のイベントに引き続き展開しました。同企画では、「大名なう」企画実施期間中、株式会社リアル・フリートが展開している家電ブランド「amadana」のポケットビデオカメラ「SAL」を使い、特別取材隊を編成。「SAL」を持ったレポーターが大名地域の姿を映像に収め、YouTubeにアップしました。

アップされたYouTubeのURLは、Twitter上で通知される他、頓智ドット株式会社が開発したiPhone用AR(拡張現実)アプリケーション「セカイカメラ」でエアタグとしてアップされ、セカイカメラユーザーはエアタグからURLをタップすることで動画を見ることができました。



ポケットビデオカメラ「SAL」



AR(拡張現実)アプリケーション「セカイカメラ」でエアタグ表示

これにより、大名地区に慣れ親しんだ人たちばかりではなく、初めて大名地区を訪れる観光客でも、映像による情報発信をベースに、大名地域に「何があるのか」「何が起きているのか」を簡単に知ることができ、大名の地域振興に大きく貢献できる基盤作りが出来たのではないかと思います。

全体の企画コーディネートは東通インテレクト株式会社が、大名なうとの連携調整を当社が担当いたしました。

## 「ランブリン」を使ったバッジコレクションラリーイベント

当社は、株式会社関心空間が提供する携帯向けサービス「ランブリン」を使ったバッジコレクションラリーイベントを5月1日（土）より福岡市大名地区で開催しました。

「ランブリン」とは関心空間が提供する地域情報とつぶやきを融合させた新しいWebサービスで、「今、どのお店が賑わっているか?」「あの店の行列はどれくらいか?」等、“今のリアルな情報”を手元で入手するサービスです。



また、ユーザーが大名なうに参加しているお店を訪れ、ランブリン内で店舗のWEBページを開き、「チェックイン」又は「お店につぶやく」ことで、電子バッジ（=サイト上のスタンプ）がもらえという「常連さんになろう」企画を実施しました。店舗が認める条件をクリアすると、常連さん認定のレアバッジ「サポーターバッジ」が授与され、ユーザーは期間中バッジ獲得を目指し多くの店舗を訪れ、大名地区は大変なにぎわいとなりました。

当社は、地域で支援してきた地域振興のノウハウを活用し、本イベント全体の運営支援を実施しました。



ユーザープロフィール画面でのファンバッジ表示      ファンバッジの全画面表示モード      スポット画面でのファン表示

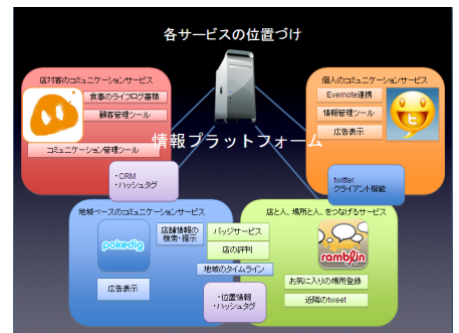
## ツイッター街おこし 中のヒトミーティング

5月9日（日）AQUA博多で開催された「大名なう」5月イベントのひとつ「ツイッター街おこし中のヒトミーティング（machitter Meeting）」にて当社は協賛を行い、関心空間とともに「個店×個人×地域 これからの情報発信の姿」と題して、当社取締役杉山隆志が講演を行いました。

また、ツイッターを使い街おこしを行って街を盛り上げている各地域の代表者とともに、大名地区の代表として加わり、その取り組みや互いの連携の大切さを語り合いました。

関心空間との講演では、これからの情報発信の姿として、個店と個人と地域を結ぶ絆が必要であり、それぞれの強みを融合させる絆としてのサービスを第一弾で考えていくという講演を行いました。

今年中にサービスインを目指し鋭意作業中！！



豚組は個店への展開とコンサルティング、関心空間はソーシャルサービス展開とコンサルティング、当社は地域への展開とコンサルティング（ヒトづくり含む）を担当し、対象者（店・地域・個人）ごとのメリットを見出ししていく



当社取締役杉山隆志が講演（左）右は、株式会社関心空間の宮田社長

ツイッター街おこし  
中のヒトミーティングの様子



会場には全国から約70名が集まった

また他の地域でTwitterを使って街を盛り上げている人たちによる取り組みの紹介や質問コーナーもあり、他の地域の方たちとも交流を深めることができる場となりました。

「machitterボード」も登場し、地域同士の盛り上がりにより一層の演出と効果がありました。

※machitterボードとは、複数の街つぶやきを見たり、#machitterにつぶやいたりして、街同士で盛り上げを共有することができるtwitterを使ったボードです。当社は、この企画・デザインを行っています。<http://machitter.jp/>



machitterボード（β版）



大名のお店が独自にイベント企画

現地（福岡市大名地区）では、それぞれ独自に企画を立ち上げ、様々な活動が盛んに行われており、大名の街が、今回の「大名なう」により自発的に盛り上がっていました。

会期中の夜間には、大名のお店において「ツイッター街おこし 対抗カクテルナイト」が開催され、講演会に参加した街それぞれの題名を冠したカクテルが登場しました！我が街カクテル（レシピも特別）も誕生し、それぞれの街の特産品を紹介する企画等もありました。

今回の大名なうも盛況のうちに終わることができ、他の地域を理解する、交流する非常に有意義な場となりました。今後とも当社では大名なうを中心に、店舗とお客様、地域とお客様、他地域と大名地域を結びつけるリアルなコミュニケーションの構築の支援してまいります。



我が街カクテル

「大名なう」イベント情報については、ぜひ、以下にアクセスしてみてください。

<http://daimyonow.jp/event/>